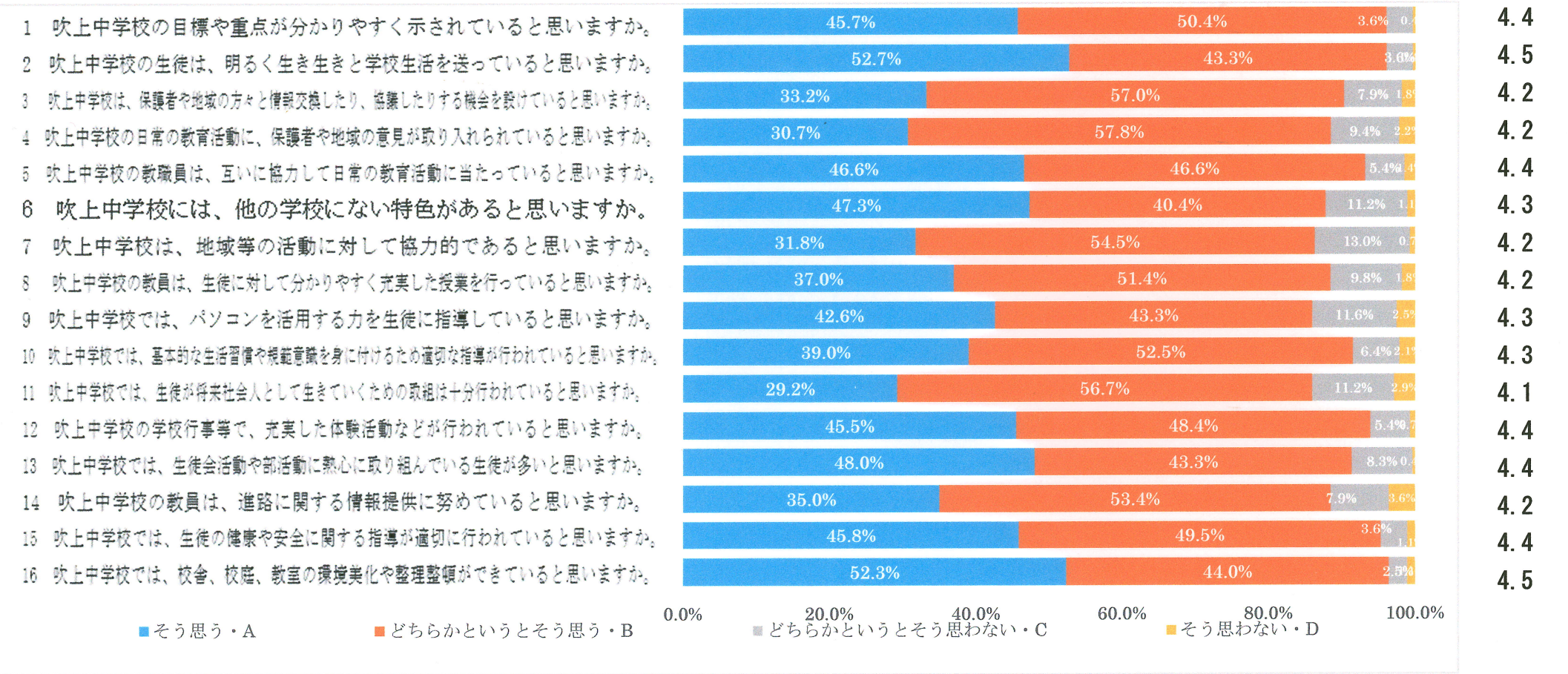


令和3年度 鴻巣市立吹上中学校 保護者アンケート調査集計結果

令和3年12月調査

※グラフ中の各項目の数値は、A～Dそれぞれの「全体における％」を表しています。
※平均は、各項目をA：5、B：4、C：3、D：2のように数値化し、平均値を求めたものです。



【アンケート結果から】

毎年、師走のお忙しい中、保護者アンケートにご協力をいただき心よりお礼申し上げます。集計結果は、ありがたいことに昨年に続いて全ての項目で平均数値が4.0を超えています。評価の基準は人によって異なるため安易に判断はできませんが、数値を見る限りでは概ね望ましい状態にあると感じていただけているようです。今回の結果やご意見を謙虚に受け止めさせていただき、さらなる学校教育の充実に努めてまいります。

最も平均数値が高かった項目（No.2 明るく学校生活、No.16 環境整備…4.5）

本校生徒の良さは、素直で明るく活気がある点です。また、生活に節度があり、元気なあいさつにお褒めの言葉をいただくことが多くあります。昨年度以来、感染症予防のために諸活動の制限が続いているものの、お互いに協力し合い校内には元気な声があふれています。環境整備については、生徒数の減少により広い敷地の隅々まで十分な清掃を行うことは難しくなっていますが、日課表の中に清掃の時間を位置づけて全校が一斉に取り組んでいます。自ら環境を整える活動は来校者からの評価も高く、校内掲示は生徒の学習成果発表と相互鑑賞の場となっています。また、花壇は生徒会活動として定期的に花々を植え替えており、部活動後のグラウンド整備も欠かさず行っています。今回、さらなる清掃指導の徹底を求める声もあり、進んで身の回りを整えられるよう習慣づけたいと思います。今年度は親子除草を実施できなかったため、来年度はよろしくお願い致します。

最も平均数値が低かった項目（No.11 将来社会人として生きていくための取組…4.1）

各項目ごとに4段階の評価をしていますが、最も高い段階への回答割合がいちばん低かったのがこの項目でした（29.2％）。生徒が社会人となる頃は、ますます世の中の変化が激しく予測が困難と言われます。そのような時代に求められる力は様々あると思われますが、参考となるのが市内高校の進路指導担当の先生に伺った話です。高校卒業後の就職に当たって合否の決め手となるのは、「コミュニケーション能力」と「基礎学力（作文・漢字・計算）」とのことでした。義務教育の最終段階にある中学校とすると、どんなに時代が変化してもたくましく、また柔軟に生き抜いていけるよう、集団生活を通じて協調性や表現力を、日頃の学習を通じて学力の向上を図ってまいります。

今年度、新たに設けた項目（No.9 P C活用能力の指導…4.3）

昨年度、国のGIGAスクール構想が前倒しされ、1人1台タブレットや電子黒板をはじめとするICT機器が市から支給されました。今年度は、通信用の機器が追加配備されるとともに、本校独自で新規に購入した周辺機器も加えて情報教育環境が一気に充実してきました。どの教科も、通常の授業でのP C活用の頻度も上がっています。家庭でのP C活用については、2学期まで感染症や災害による長期の臨時休業となった場合に備えた接続確認（9月）とリモート学活（11月）で一斉持ち帰りをを行うほか、一部の教科等において家庭学習に取り入れてきました。3学期となり、1月の臨時休業期間中はこれまでの想定が現実のものとなり、全学年で朝のリモート学活に加えてオンライン学習を実施しました。学習の機会を保障するとともに、各家庭で孤立感が深まりかねない生徒の精神的ケアの面でもP C活用の意義を実感したところです。今回の取組では不具合もあったことから、今後ともより有効に活用できるよう市主催の研修や校内の自主研修に取り組み、教員のP C指導力の向上に努めてまいります。

【ご意見・ご質問について】

1 学習指導

日頃の授業は、各教科等ごとに身に付けたい力を明確にして年間計画に沿って進めています。詳しくは、学校HPにシラバスとしてお知らせしています。どの教科においても、基礎的な学力・技能の習得に重点を置いており、例えば国語では漢字小テスト、数学では計算オリンピック、英語では単語テストを継続実施しています。しかし、ご指摘いただいたように、行事との兼ね合いや進度調整等の都合から予定どおりにならないこともありました。「継続は力なり」を旨として実践してまいります。同じ学年の同じ教科を複数の教員が担当することに、ご心配の声がありました。定期テストにおいてクラス間に不公平が生じるのではないかと懸念です。日頃の授業内容や進度については、担当教員間で連絡・調整し、テスト前には出題する問題の確認を行っています。また、1つのテストを分担して作成したり、中間テストと期末テストで出題者を交代して、特定のクラスだけに偏った結果とならないよう気をつけています。学期ごとの評価は定期テストの点数だけでなく、提出物や作品の状況、授業への取組の様子等、様々な観点から評価していることをご理解頂きたいと思います。

2 生活指導

通学時の服装見直しのご意見がありました。基本的には夏服と冬服を季節に応じて切り換えています。どちらも選択できる調整期間を長目に設定するほか、様々な個別事情により柔軟に対応していますので各担任にご相談ください。また、通学カバンの見直しについてのご提案を頂きました。現在、市内他校において、通学カバンを別タイプに改める動きが始まっています。今後、タブレットの持ち帰りが多くなることが予想され、それに伴って家庭学習の進め方やカバンに入れる教材等も変わってくると思われます。それに伴い、学習スタイルの変容や生徒の持ち運びの負担、安全性、機能性を見極めながらの検討が必要と考えています。なお、カバンや制服を数年程度で頻繁に変更することは好ましくありませんから、拙速とならないようご意見も伺いながら慎重に対応してまいります。登下校中の交通マナーや学校外での生活について、保護者だけでなく地域の方からご意見をいただくこともありました。校内で規律ある態度で生活していても、校外での生活が乱れていては小学生の模範であるべき中学生としてふさわしくありません。また、生命や身体の安全に関わる重大な問題であることから、その都度、全校や各学級で指導するとともに巡回して注意喚起しています。今後とも、地域の皆様に校外の生活を見守っていただきますようお願いいたします。学校としましても、規範意識を高め、地域の一員としてお互いに心を通わせ合う接し方に目を向けさせたいと思います。

3 コロナ対応

年末には感染者数が減少していましたが、1月になると全国的に急激な増加状態となりました。本校におきましても、各学年において関係者の検査結果に陽性反応が複数確認され、学年閉鎖から学校閉鎖へと全校的な対応を取らせていただきました。保護者・地域の皆様のご理解とご協力に、改めてお礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大防止は、どちらの家庭・職場にも共通した課題ですが、学校における具体的な対応については考えが分かれるところであり、様々なご意見を頂いています。特に音楽祭については、他校横並びとせず、感染症対策を講じながら実施したことは生徒の心情にかなっていよかったという感想もあれば、中止している学校がある中で実施したことへの疑問、マスクをしたままで学校内での実施が妥当とする意見もありました。本校では、埼玉県教育委員会・鴻巣市教育委員会の示した方針（「感染防止対策を徹底しながら教育活動を行う」）を基本とし、工夫しながら授業や行事に取り組んでいます。具体的な教育活動については、3密回避、学校における感染症対策マニュアル（市教委作成）、さらには直近の市内の感染状況や市内施設の感染症対策上の利用規定等に照らしながら、「どうしたら、学びを止めることなく学校生活を守れるか」を考えて計画を立てています。教室での教科学習だけでなく、行事や生徒会活動、部活動等を含めた全てについて、コロナ禍においても価値ある中学校生活を送らせたいという願いによるものです。幸い行事を実施したことによる感染者は発生していませんが、だからといって実施の判断が100％正しかったとは考えていません。生徒や保護者に不安がある中での実施は無謀と言われかねないことであり、丁寧な事前の説明が不足していたものと思います。今回、感染症対策に緩みが出ているとのご指摘もいただいていることから、再度、生徒・職員ともに気を引き締めてまいります。

4 家庭・学校の連携

行事等の予定は学校・学年・学級日より、HP等でお知らせし、緊急性がある場合には配信メールを活用しています。また、特に参観・来校いただきたい行事等については文書をもってご案内しています。余裕を持ったお知らせと、予定を変更する場合の確実かつ早めの連絡についてご意見をいただきました。注意してまいります。各種たよりの内容については、学校の様子がよくわかるという感想があった一方で、クラスや部活動の様子を直接肌で感じる場面が少ないことを残念に思われる声もありました。密集を避ける意味から、昨年度に引き続き授業参観や学校公開週間の実施がかなわないことを、学校としても心苦しく思っています。部によっては、適切な時期に部活動保護者会が開催できなかったことも反省点です。3学期末には、今年度最後の授業参観及び学級懇談を予定しています（1・2年）。感染症の拡大状況を見ながら、1か月前を目安にご案内させていただきますのでよろしくお願いします。生徒の不安や悩みの受け止めについてのご要望もあったことから、より一層家庭との連携に配慮してまいります。

5 その他

特色ある学校づくりへの期待を寄せて頂く方もいらっしゃいました。まず最初に、公立学校として教育内容や教科時数は枠組みが規定され、施設・予算・人事等の制約のあることを、ご理解頂きたいと思います。また、各家庭が求める学校像はまちまちであり、様々なご意見・ご要望の全てにお応えできず最終的に最大公約数的な教育活動になってしまう面もあります。とはいえ、他校にない本校だけの良さを実感したいというお気持ちはよくわかります。今年度は開校75周年という節目にあたり、生徒と職員がアイデアを出し合い学校生活の充実を図ってきました。今後とも、喜びや感動のある学校生活を目指して「吹上中に通って良かった。」「通わせて良かった。」と思って頂けるよう努めてまいります。この他、アンケートの項目や選択肢に答えにくいものがあることとご指摘もありました。集計結果を前年度と比較する関係上、毎年、原則として同じ項目・選択肢でのアンケートとしています。回答しやすいアンケートにするのも大切なことですから、判断の参考としていただくために、昨年度から項目ごとにその年の主な取組を添えさせて頂いています。日頃の校内の様子をお伝える情報発信の仕方も含めて、さらに工夫してまいります。

ご協力ありがとうございました。